

トキ一般公開について

1. 公開に向けたスケジュールについて

(1) 観察施設建築等工事

工期 10月31日

(2) 順化期間 10月下旬～12月上旬

トキが施設や飼育員、飼育室内作業、公開施設からの観覧になれるための期間。
公開施設からの観覧については、地元関係者等の協力を得て行う。

2. 公開について

(1) 位置づけ

平成30年度は試験的な公開とし、誘導・案内の時間、手法等の検証を行う期間とする。正式な公開は来年7月1日とする。

(2) 公開時期

12月上旬～ 関係機関、地元関係者を対象とした公開

12月中旬～12月28日

市民や「しまね花の郷」入場者、「トキ学習コーナー」来場者などを対象とした試験公開

※鳥インフルエンザ防疫対策について観覧者の協力を得ることとする。

近隣で鳥インフルエンザ陽性が確認された場合は、国の指導のもとに公開を中止する場合がある。

(3) 公開時間 10時～15時

(4) PR方法

①市のホームページ等への掲載 11月頃

②マスコミへの説明会をオープン前に別途行う。

③県外、観光関係等への本格的なPRは、7月のグランドオープンに向け、別途行う。

3. 誘導案内方法

(1) 一般

①しまね花の郷からの入場者

しまね花の郷から連絡通路を経由して随時入場

②学習コーナーからの入場者

学習コーナーで受付し、所定の時間に誘導員の案内により徒歩で分散飼育センター東側から入場

・案内時間 10時、12時、14時 (試行)

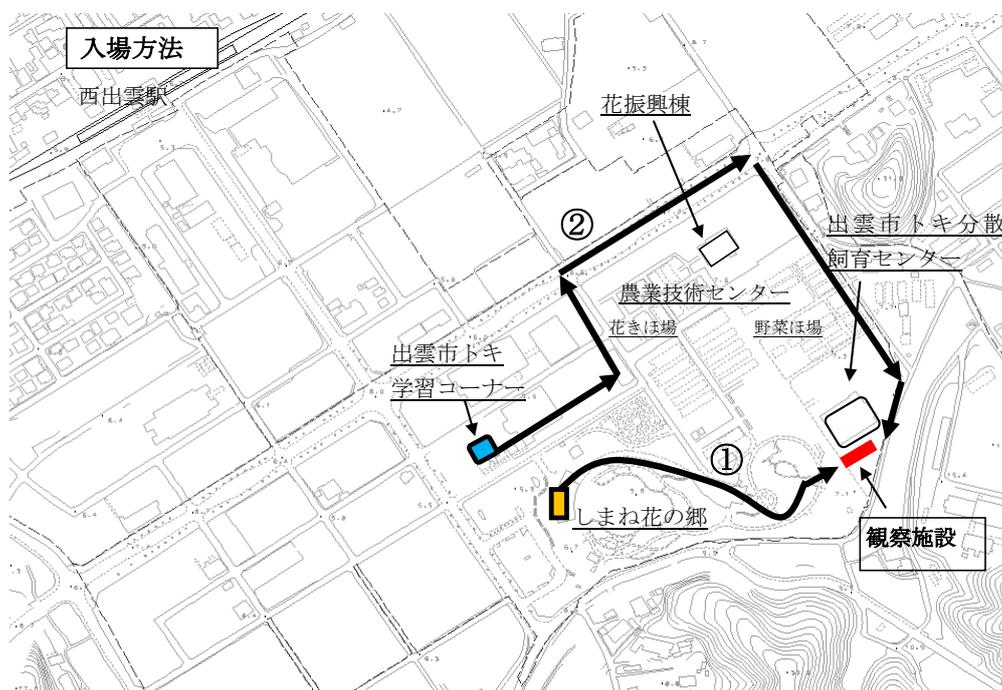
- ・歩行者の安全確保（歩道のない市道の通行）、トキ飼育センターへの誤進入防止、農業技術センターの研究施設・ハウスへの侵入防止など、施設管理、防疫管理を徹底するため、時間制限を行う。
- ・飼育センター東側からの入場者のしまね花の郷への進入を防止するため、ストラップの着用等による区分とともに、一斉入場・一斉退出による誘導を行う。

(2) 各種団体、学校等

- ・学習コーナーへの事前申込を条件とし、観覧時間を調整することで他の観覧者との混乱を防止する。
- ・状況により分散飼育センター東からの入場を可能とする。
- ・バスの場合は、乗降場所、駐車場所を指定

(3) 障がい者の方など

- ・事前に予約を受け、他の観覧者との混乱を防止する。
- ・状況により分散飼育センター東からの入場を可能とする。
- ・バスの場合は、乗降場所、駐車場所を指定



(4) 観察施設での説明

観察施設内に資料を展示するとともに、係員や飼育員による説明時間を設け、「出雲ならではのトキの話」が聞ける施設とする。

4. 関係機関の協力

誘導案内、説明については、NPO法人いずも^と朱鷺^き21などの協力を得る。

5. 公開施設の入場料について

(1) トキ公開施設の位置づけ

一般公開により不特定多数の入場者を対象とすることから、「観察施設」と「学習コーナー」を公の施設として条例を制定し、トキ保護の教育・普及・啓発のための施設とする。トキ分散飼育センターは、引き続き研究施設とする。

(2) 入場料

条例により、観察施設及びトキ学習コーナーの入場料を無料とする。

ただし、任意に協力金を求める。200円

①理由

- ・市の類似施設の入場料は、教育・普及・啓発施設の多くが無料となっている。
- ・トキ(特別天然記念物)の公開という特殊性と、西日本で唯一の公開施設という稀少性を効果的に活用する。

市の類似施設の入場料

| 施設名 | H28 入場者数 | 料金 |
|--------------|-----------|--------------------|
| 出雲文化伝承館 | 58,086 人 | 無料 |
| 出雲弥生の森博物館 | 34,745 人 | 無料 特別展は有料 |
| 荒神谷博物館 | 25,261 人 | 無料 展示室は有料 |
| 出雲科学館 | 149,920 人 | 無料 |
| 風の子楽習館 | 35,067 人 | 無料 |
| 浜遊記念館 | 5,051 人 | 無料 |
| 八雲風穴 | 12,209 人 | 200 円 (小学生 100 円) |
| 目田森林公園 | 9,017 人 | 200 円 (小中学生 100 円) |
| 木綿街道本石橋邸 | 1,505 人 | 200 円 (小中学生 100 円) |
| 出雲ドーム見学料 | 507 人 | 180 円 (中学生以下 90 円) |
| 出雲市斐伊川放水路記念館 | H28 完成 | 無料 |
| しまね花の郷 | 60,285 人 | 200 円 (小中高生 100 円) |

②用途

協力金は、「出雲市トキとの共生まちづくり基金」に積み立て、啓発用グッズの作成、公開個体の衛生管理、公開施設の運営、トキによるまちづくりに要する経費に充てる。

③協力金の徴収方法

協力金の徴収にカプセルトイ機器（ガチャ機）を利用する。

- ・発券のための施設整備や人件費、もぎりにかかるコストを削減する。
- ・カプセルトイによりグッズ(記念品及び説明文)を渡すことで、普及啓発につなげる。
- ・カプセルトイ機器には、協力金の趣旨や出雲のトキの写真等を表示するなど、協力を得やすいようなセッティングを行う。

(3) 入場者数の計測

観察施設において、係員がカウンター機などを用いて計測する。

6. 公開個体

公開個体は、佐渡トキ保護センターで飼育されている、オス4羽とする方向で国と協議中。

7. 平成31年度の公開方針

(1) 期間等

期間 7月1日～12月28日

時間 トキ学習コーナー開館時間の範囲内とし、本年の状況を踏まえて今後決定する。

(2) 記念式典、イベントの開催